



令和7年度 印西市民アカデミーだより

第12号

講座12：新施設 コスモスパレット印西について学ぶ

令和7年4月にリニューアルオープンした「コスモスパレット印西」は、「まちと人を繋ぐ、利用者ひとりひとりの活躍の舞台」をコンセプトに掲げる複合施設です。10月24日、市民アカデミーの講座として、施設の概要や運営方針などをテーマに開催しました。講座では、生涯学習課職員と、施設の指定管理者であるシダックス大新東ヒューマンサービス（株）の運営担当者から、施設の沿革や利用方法、施設の概要などについてお話を伺いました。

講座の冒頭では、参加者がリラックスした気持ちで講座に臨めるよう、アイスブレイクを取り入れた進行が行われ、和やかな雰囲気の中で学びが始まりました。

◇施設の沿革は、

昭和62年（1987）：印西市中央駅前公民館が開設

平成24年（2012）：中央駅前地域交流館として整備・改称

令和4年（2022）：PFI方式による複合施設整備・指定管理者の指定

令和7年（2025）：コスモスパレットⅠ・Ⅱとしてリニューアルオープン

令和8年（2026）：立体駐車場・民間医療施設の開業予定、「コスモスパレット印西」の完成へ

◇施設の利用方法については、団体利用は利用日の2か月前の9日前から申し込み可能となります。新規団体は事前登録が必要です。個人利用は利用希望日の10日前から申し込み可能です。

◇コスモスパレットⅡには、文化芸術機能として芸術ホール（300人収容、隣接公園との一体利用可能）、ミニホール、バンドスタジオ、アートギャラリーなどがあり、健康・福祉・子育て機能として保健センター、福祉相談窓口、子育てルームなどが整備されています。また、市民支援機能として出張所、市民活動支援センター、市民安全センターなどがあり、住みよいまちの豊かな暮らしを支える複合拠点となっています。

◇施設の運営方針については、指定管理者の担当者から、施設づくりに対する思いや方針が語されました。「市民に開かれた、安心で魅力ある施設運営」を目指し、安全管理の徹底と、誰にとっても使いやすく温かみのある対応を心がけているとのことです。また、地域の方々との協働を大切にし、市民の声を反映させながら、利用者とともに育っていく施設を目指していると話されました。

コスモスパレットは、市民一人ひとりが自分らしく過ごせる“心の拠りどころ”として、文化・学び・交流が自然に生まれる場所です。地域の未来を担う皆さんにも親しまれる施設として、今後も発展を続けていきます。



皆さんの学び、交流、活動の場の一つとして、ぜひご利用ください。